

# 地表近くの風の姿を捉える

～野外観測と数値シミュレーションによるアプローチ～

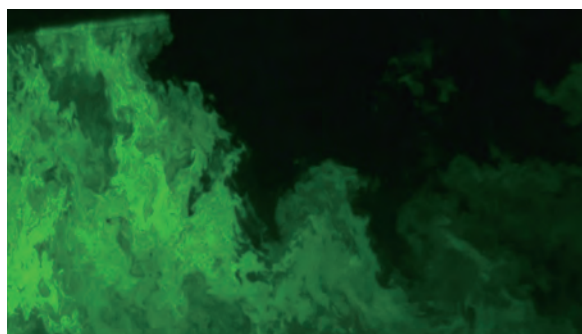
地表の近くを吹く風は、大小さまざまな渦を含み、時々刻々と姿を変えながら流れる乱流の状態にあります。そうした乱れた風の動きは、大気と地表との間で熱や様々な物質のやり取りを引き起こし、両者の間で繰り広げられる相互作用の最も根幹的な部分を担っています。本セミナーでは、地表付近の風が実際にどのような姿（空間構造）をしているのかを捉えるために、野外での観測や数値シミュレーションを用いて進めているいくつかの取り組みを紹介します。

講師

北海道大学低温科学研究所  
教授 渡辺 力



地表付近の風の空間構造を捉える観測の様子



野外における風の可視化画像

## <セミナーへ参加される皆様へ>

入所の際、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下のことについてご協力をお願いいたします。

- 入口に消毒用アルコールを用意してありますので、確実に手指の消毒をお願いいたします。
- 所内ではマスクの着用をお願いいたします。
- 室内では間隔を空け距離を取りますが、咳エチケットなどの一般的な感染症対策をお願いいたします。
- 入所時に検温をいたしますが、発熱がある方につきましては入所をお断りいたします。
- 咳・発熱などの症状がある方、体調に不安のある方、新型コロナウイルス感染者や感染の疑いが高い方々に濃厚接触のあった方はご入所をご遠慮くださいますようお願いいたします。

日時

2021年12月20日(月)  
10:00～11:00 (開場 9:30～)

会場

新潟大学災害・復興科学研究所 1階  
プレゼンテーションスペース  
(〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地)

会場参加20名 オンライン(Zoom)参加300名

定員

## 参加費無料

どなたでもご参加いただけます。  
定員になり次第締め切らせていただきます。  
※参加費は無料ですが、オンライン参加者は、インターネットに接続する費用を負担してください。

## 参加申込

申込締切：2021年12月15日(水) 16時まで

メールにて、新潟大学災害・復興科学研究所  
nhdr\_office@gs.niigata-u.ac.jpまで、申し込んでください。

メールの件名：12月20日第44回災害環境科学セミナー参加希望

メールの本文にて、会場参加又はオンライン参加、お名前、ご連絡先、ご所属、職名(学生の方は学年)をお願いいたします(個人情報は本件以外に使用しません)。

申し込みのあったオンライン参加者へは、オンライン接続(Zoom)に関する情報を返信いたします。

主催：新潟大学災害・復興科学研究所

後援：新潟工科大学風・流体工学研究センター